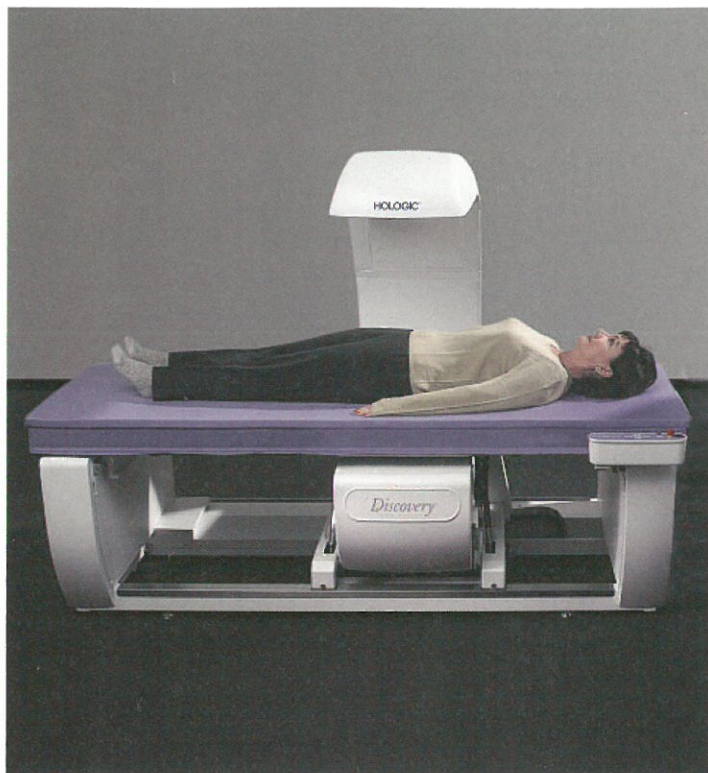


TBS insight
Trabecular Bone Score
TBS

TBS insight™はDXAによる腰椎測定データのテクスチャー情報からTBSを解析するソフトウェアです

HOLOGIC社製
 Horizon X線骨密度測定装置

TOYO MEDIC medimaps



骨粗しょう症診断に 最新の「TBS」解析ソフトを活用

骨密度測定装置 (DXA)。2014年の導入以来、骨密度 (骨量) の検査件数は延べ7500件超。月平均170件とフル稼働 (右写真) 骨密度測定装置に新たに追加されたTBS解析ソフト。骨質の微細構造を評価する (左写真)



- ① 高性能の超音波画像診断装置 (エコー) は、検査・診断だけでなく、エコーガイド下注射などの治療にも活用
- ② リハビリ室には充実したスタッフと設備が整う
- ③ デイケア (通所リハビリ)、訪問リハビリ、居宅介護支援事業所 (ケアマネ) を併設し、医療・介護の両面から高齢者の在宅生活を支援



理事長・院長
中島 浩芳氏

愛知医科大学卒業。北大整形外科入局、道内病院勤務を経て、2008年光洋整形外科・内科リハビリ院長。12年より現職。日本整形外科学会認定専門医

「ただ長寿だけでなく、自分で歩ける活動的で生き生きとした日常生活を送れるよう、骨や関節などの病気を予防・治療し、健康寿命を増進させる医療を目指したい」と話す中島浩芳院長。専門である膝疾患をはじめ整形外科全般の検査、治療、手術が行える苦小牧では数少ない有床診療所である。

高齢者が健康を維持する上で、「骨折予防」は重要であり、日常生活動作 (ADL) を低下させる骨折は、寝たきりになる危険性を高くする。骨折しづらい強い骨を維持するには「骨粗しょう症」の予防、早期発見、治療が重要で、そのため高精度の骨密度測定装置 (DXA法) を導入し、定期的な骨密度検査に取り組んでいる。2019年5月、同装置に骨の微細構造を解析する最新ソフト (TBS) を追加。従来の骨密度 (骨量) 測定に加え、骨質の評価を合わせて行うことで、より正確な診断と骨折

発生リスクの予測が可能になり、個々の患者により適した治療方法を選択することができる。

リハビリにも重点を置き、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士計10人の専門スタッフが、入院患者はもとより外来患者にも対応する。膝・腰痛などの整形外科疾患の運動療法のほか、脳卒中後や神経難病にも幅広く対応。また、入院患者の早期自宅復帰を目指し、日・祝日もリハビリを実施。パワーリハビリ機器、ウオーターベッド、低周波治療器など設備も充実し、併設するデイケアには、1日60人以上の利用者が通い生活期リハビリに取り組んでいる。

肩こり、腰痛などの治療で超音波画像診断装置を活用した「ハイドロ (筋膜) リリース注射」や、脳卒中などにより生じる手足の筋肉のつっぱり (痙縮・けいしゆく) の緩和に効果のあるボトックス治療など最新治療にも取り組んでいる。

整形外科・内科・リハビリテーション科

医療法人社団 生き生き会

光洋いきいきクリニック

☎0144-71-2700

苦小牧市光洋町1丁目16番16号

<http://www.ikiikikai.com>

診療時間 /

【整形外科】

月・火・水・金曜 8:30~12:00 13:30~17:00

木・土曜 8:30~12:00 休診日/日曜・祝日

【内科】

月・火・木・金曜 9:00~12:00 13:30~17:00

水曜 9:00~12:00 休診日/土曜・日曜・祝日

最寄りアクセス / 道南バス光洋中学校前停留所すぐ